

動画で農作業指導

栃木県開拓農協 システム説明会 外国人実習生に

【とちぎ】栃木県開拓農業協同組合は6日、那須塩原市の同農協本所で、動画で農作業のノウハウを伝授するシステムの説明会を開いた。同農協で外国人実習生らの指導に当たる職員らが参加。スマートフォンを用いたマニュアル作りなどについて聞いた。

説明に当たったのは、作業ノウハウを盛り込んだ短尺（たんさく）動画

の制作を手掛ける「so easy」の中野慧社長ら。同社は「トレーニン

グ動画SNS（インターネット交流サイト）「so easy buddy」などを開発。作業教育用のツールとして提供している。

中野社長が、農林中央金庫宇都宮支店が開いた「農業経営セミナー」の席上で同システムを紹介。参加していた同農協関係者が関心を寄せ、説明会につながった。

同システムは実際の農作業を短尺の動画に収め、スマホで見ながら学ぶ仕組み。発信者側と受け手側の双方での情報共有ができる他、投稿が簡単で、外注コストを掛

けずに独自のマニュアルが作れるなど、幅広い機能を備えている。

同農協では毎年、外国人実習生を受け入れていて、スムーズで正確な意思疎通は大きな課題になってきた。説明を受けた職員らからは、現場に即したさまざまな使い方の質問が寄せられた。

同農協の田中淳一総務部長は「まだ導入は確定していないが、よく検討してみたい」と話した。

中野社長は「導入が実現すれば、農業分野では初めて、一緒にいいものに作り上げたい」とした。